

久留米大学を受診した患者さんへ

「口腔外科手術における Piezosurgery®の有用性に関する検討」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間：平成 12 年 4 月から平成 27 年 7 月
- 2) 受診科：歯科口腔医療センター
- 3) 対象疾患名：顎骨骨切り術を施行した患者
- 4) 使用する情報：カルテ・画像などの診療情報

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：歯科口腔医療センター
 研究代表者：助教 田上隆一郎
 研究分担者：教授 楠川仁悟
 助教 古場朗洋
 助教 武富孝治

2) 研究の意義と目的：Piezosurgery®は皮膚・粘膜・血管・神経等の軟組織を傷つけることなく、硬組織のみを切削する器具であり、近年多分野で使用されている超音波切削器具です。従来の切削器具と比べ、術後の腫脹の程度、知覚麻痺発症や出血等リスクは少ないとされていますが、術後の影響について、その詳細は解明されていません。当センターにおいて顎骨骨切り術に対して、従来の回転切削器具を用いた症例と Piezosurgery®を用いた症例を比較し、軟組織をはじめ、硬組織に与える影響を明らかにすることで、その有効性を検討します。

3) 研究の方法：H12 年 4 月以降久留米大学歯科口腔医療センターにおいて従来の回転切削器具を用いて顎骨骨切り術を施行した症例と Piezosurgery®を用いた症例について診療録および画像等を用いて以下の項目を後ろ向きに調査します。

- ①手術時間
- ②出血量
- ③麻痺の出現率およびその改善率
- ④手術範囲・切削量
- ⑤その他の合併症 等

- 4) 研究期間：平成 27 年 8 月倫理委員会承認後～平成 32 年 8 月
- 5) 上記の情報の使用を選定した理由：口腔外科手術における Piezosurgery®の有用性を明確にするとともに、より安全性のある手術方法を確立するため。
- 6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：患者さんのデータを取り扱う上で、個人を特定できる情報(住所、氏名、生年月日等)は取り除きます。個人を特定できる情報と符号との関係に対応させた記録は、歯科口腔医療センター教室のコンピュータとは別のコンピュータの外部記憶装置などに保存し、個人情報管理責任者あるいは個人情報分担管理責任者が保存庫に管理します。
- 7) 研究成果の発表の方法：学術集会および学術雑誌にて発表を行います。
- 8) 利益相反：利益相反は存在しません。
- 9) 事務局、問い合わせ、連絡先：
代表者 歯科口腔医療センター 助教 田上隆一郎
〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67
TEL 0942-31-7541 FAX 0942-31-7555